

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質グループ

平成13年4月2日

第1報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	20		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(珪) <i>Melosira varians</i>	4		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	4		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	730		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	16		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense var. apiculatum</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	260		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	50		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	360	22.6	20.0
(珪) 珪藻綱	774	48.5	38.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.3	2.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	360	22.6	29.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	82	5.1	10.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1596	総体積	7.31E+05
種類数	18	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	320

第2優占種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Codonella cratera</i>	120

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata

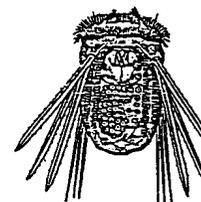
(ヒメマルケイソウ)

珪藻綱

殻面は円形で、その直径は4~10 μm と小さい。

多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris

(ハネウデワムシ)

輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。

前部に2本の触角がある。

コメント:

今回の調査でも植物プランクトンはキクロテラ グロメラータが最も多かったが、これまでこの種とされてきた中のいくつかは別の種であることがわかってきた。永久プレバートを作成し、これをもとにして分類を試みたところ、今回最も多かった種はステファノディスクス ミヌツルスであった。動物プランクトンはハネウデワムシが最も多かった。本種はこの時期に毎年増加する種類である。